

令和 7 年度 茨城県医療的ケア児等実態調査の 結果について

令和 8 年 3 月 2 4 日（火）
福祉部障害福祉課

1 調査の概要

(1)目的

日常的に痰の吸引などの医療的ケアが必要な医療的ケア児は、近年の医療技術の進歩等により増加傾向にある。

在宅で医療的ケア児者を介護する家族は、昼夜を問わず介護するため、心身の負担が大きく、その負担軽減を図る必要がある。

このため、医療的ケア児者と家族の生活状況や必要とされている支援ニーズを把握し、今後の支援施策検討の参考とする。

(2)対象

【医療的ケア児者】

在宅で療養している次のいずれかにあてはまる方

- ・ 18歳未満の医療的ケア児（高等学校等に在籍している18歳以上の方も含む。）
- ・ 医療的ケア児が成長し、成人（18歳以上）となった方（64歳以下）
- ・ 小児期に発症した病気があり、18歳以降に病状の進行等により、医療的ケアが必要になった方（64歳以下）

【障害福祉サービス事業所】

・ 障害福祉サービスのうち

児童発達支援・放課後等デイサービス・短期入所・生活介護・障害児相談支援・計画相談支援

のいずれかを提供する事業所

(3)期間

令和7年12月26日（金）～令和8年3月22日（日）

※当初2月10日（火）を期限としていたが、回答状況を踏まえ、一部の障害福祉サービスの期限を延長して実施

集計の都合上、本日の協議会では、3月8日（日）までの回答についての結果をご報告いたします。

2 調査結果 <回答の状況>

■ 医療的ケア児者：151名

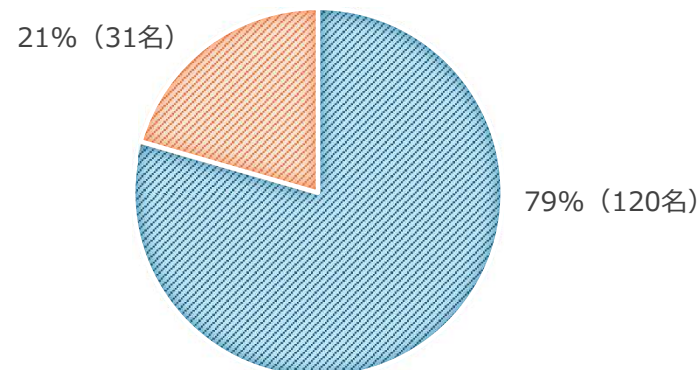
{ 医療的ケア児：120名
 { 医療的ケア者：31名

※R7.7.1時点で県内の在宅の医療的ケア児は491名

医療的ケア児の回答率は24%

回答割合：医療的ケア児か医療的ケア者か

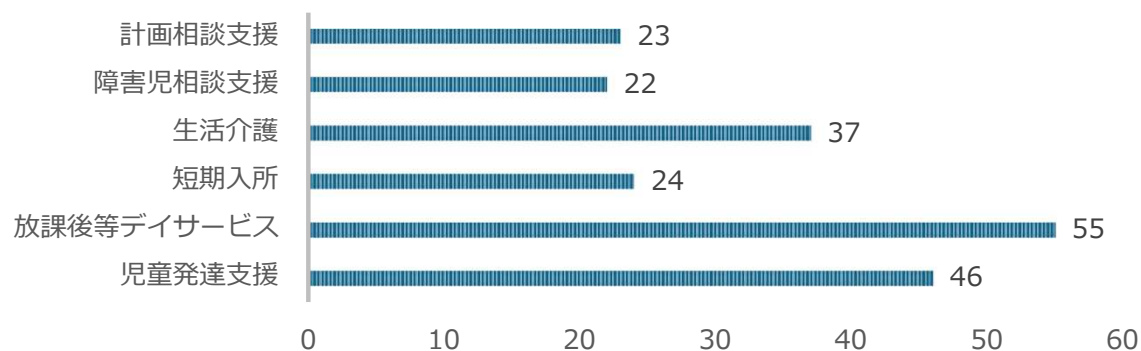
■ 医療的ケア児（18歳未満）※18歳以上の高等学校等に在籍する方を含む
 ■ 医療的ケア者（18歳以上）



■ 障害福祉サービス事業所

	児童発達支援	放課後等 サービス	短期入所	生活介護	障害児 相談支援	計画 相談支援
回答数	46	55	24	37	22	23
事業所数（R7.4.1時点）	397	590	262	338	313	393
回答率	12%	9%	9%	11%	7%	6%

障害福祉サービス事業所の回答状況／事業所数

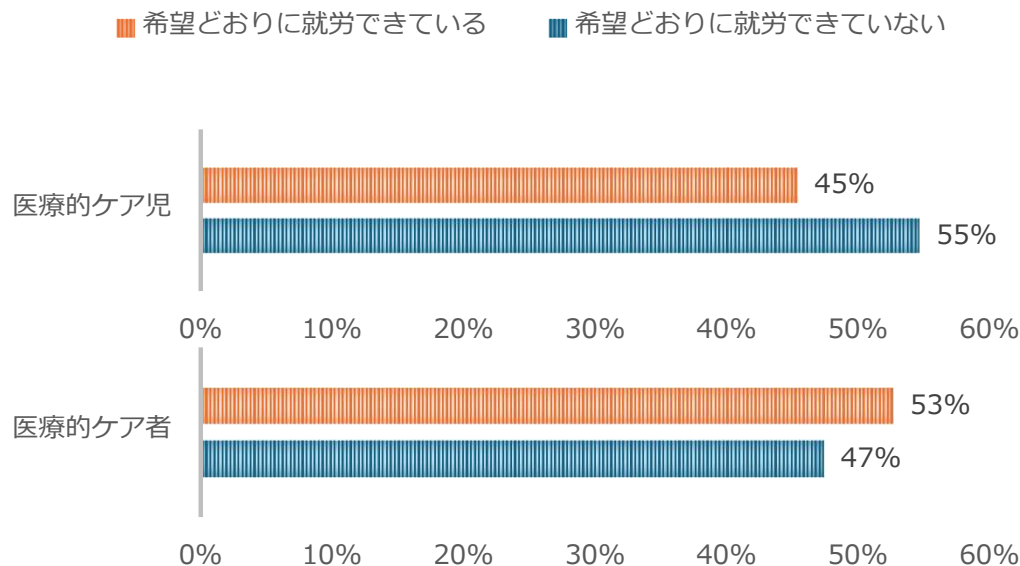


2 調査結果 <医療的ケア児者>

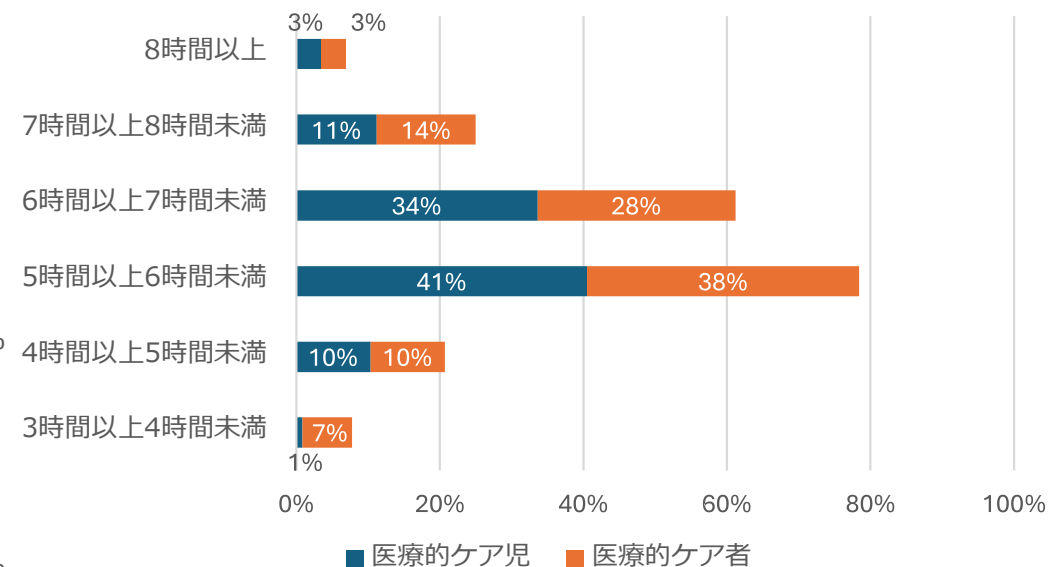
■ 主なケアを担っている方の状況

	医療的ケア児	医療的ケア者
就労状況	就労希望の方のうち、半数以上の方(55%)が希望する勤務形態（フル・パートタイム）で勤務できていないまたは、就労できていない	同様に、約半数の方（47%）が希望どおりに就労できていない
睡眠時間	半数以上の方(52%)が6時間未満と短い	同様に、半数以上の方（55%）が6時間未満

希望どおり就労できているか



平均睡眠時間



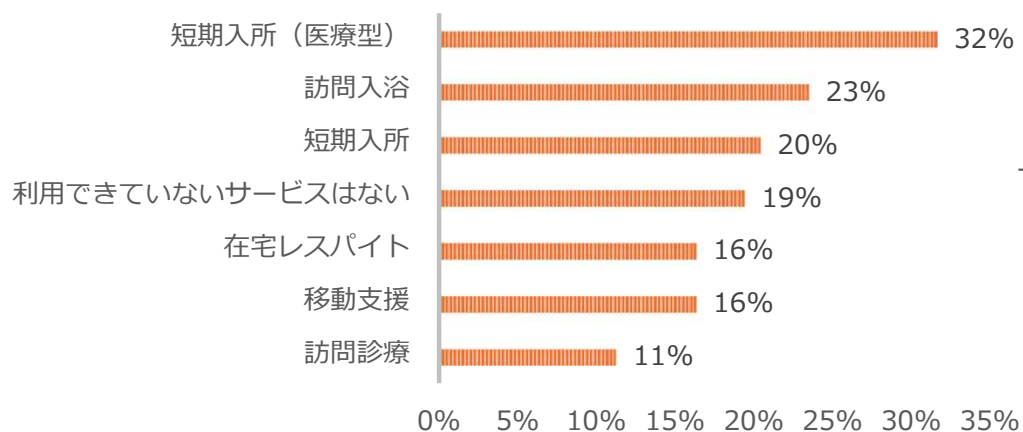
▶ 主な介護者の就労・睡眠に大きな制約

2 調査結果 <医療的ケア児者>

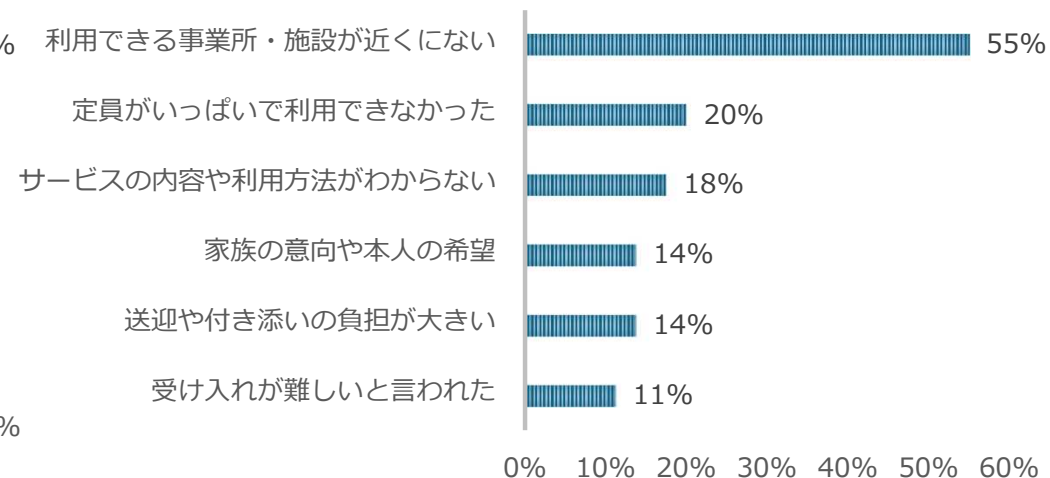
■ 障害福祉サービスの利用状況

	医療的ケア児	医療的ケア者
利用したいが、利用できないサービス	多い順から、「短期入所（医療型）（32%）」、「訪問入浴（23%）」、「在宅レスパイト（16%）」となっており、 <u>レスパイトのニーズが高い</u>	同様に、 <u>レスパイトのニーズが高い</u>
利用できていない理由	多い順から、「利用できる事業所・施設が近くにない（55%）」、「利用を希望したが、定員がいっぱいで利用できなかった（20%）」、「サービスの内容や利用方法がわからない（18%）」となっており、 <u>レスパイト施設の不足等が課題</u>	同様に、 <u>レスパイト施設の不足等が課題</u>

利用できていないサービス（上位のみ）



利用できていない理由（上位のみ）



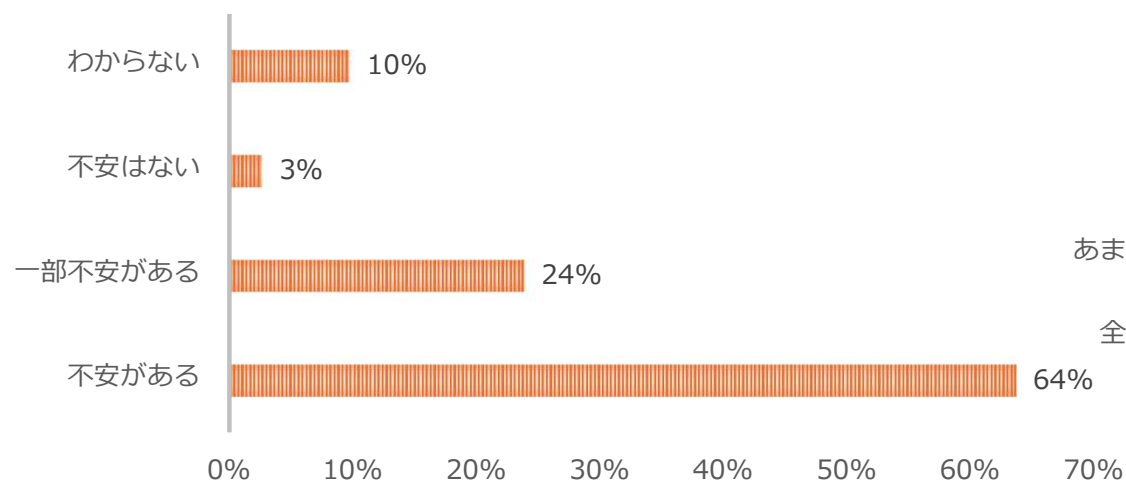
▶ 短期入所を中心に、レスパイト機能の不足がうかがえる

2 調査結果 <医療的ケア児者>

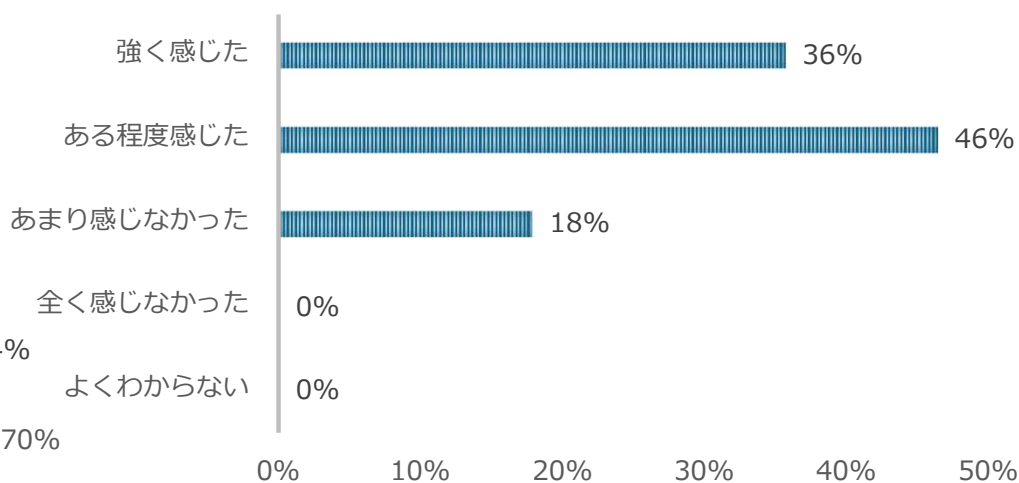
■ 18歳を迎えた後の成人期

	医療的ケア児	医療的ケア者
成人期を迎えた後の医療体制への不安	「不安がある(64%)」及び「一部不安がある(24%)」と回答した方が88%と <u>多くの方が不安を抱えている</u>	実際に、 <u>多くの方が不安を感じた</u>

成人期を迎えた後の医療体制に不安があるか（児）



いわゆる18歳の壁を感じたか（者）



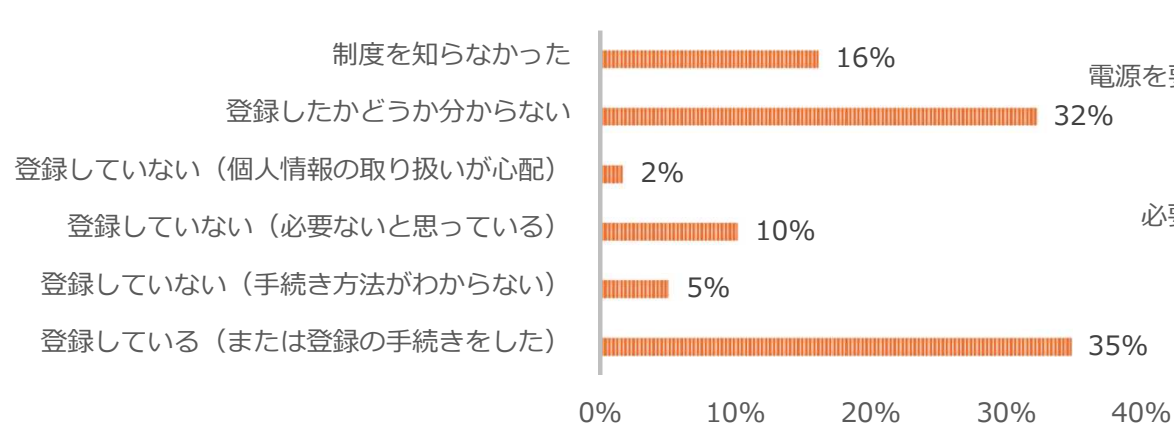
▶ 成人期移行後の体制に強い不安がみられる

2 調査結果 <医療的ケア児者>

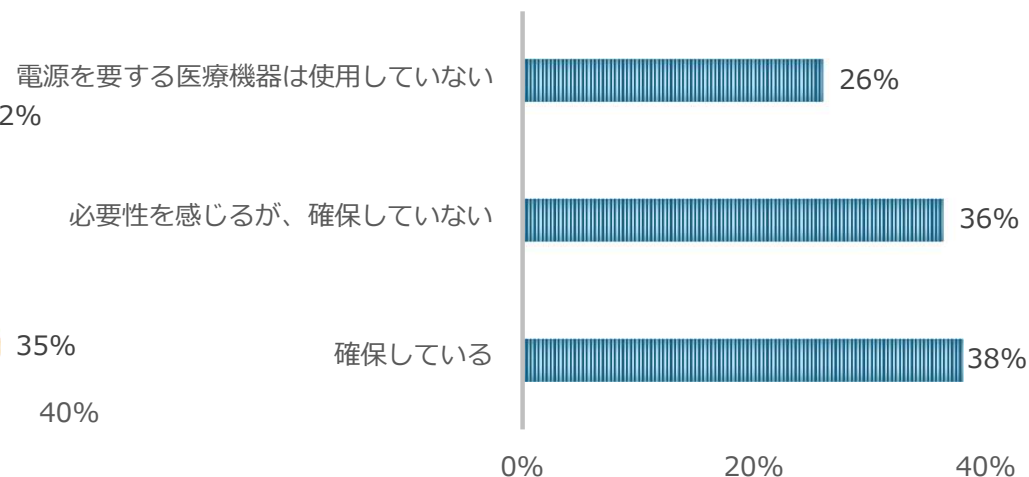
■ 災害への備え

	医療的ケア児	医療的ケア者
避難行動要支援者名簿への登録状況	手続きを含め登録している方は35%いるものの、「登録したかどうか分からない(32%)」や「制度を知らなかった(16%)」方が48%もあり、 <u>周知・啓発による認知度向上が課題</u>	同様に、 <u>周知・啓発による認知度向上が課題</u>
停電時に備えた非常電源の準備状況	「必要性を感じるが、確保していない」と回答した方が36%おり、 <u>非常電源の確保が課題</u>	同様に、 <u>非常電源の確保が課題</u>

避難行動要支援者名簿への登録状況（児）



非常用電源の準備状況



▶ 災害時支援制度の認知、停電時に備えた非常電源の確保が課題

2 調査結果 <障害福祉サービス事業所>

■ 医療的ケア児者の受入れにあたっての課題 ※上位項目抜粋

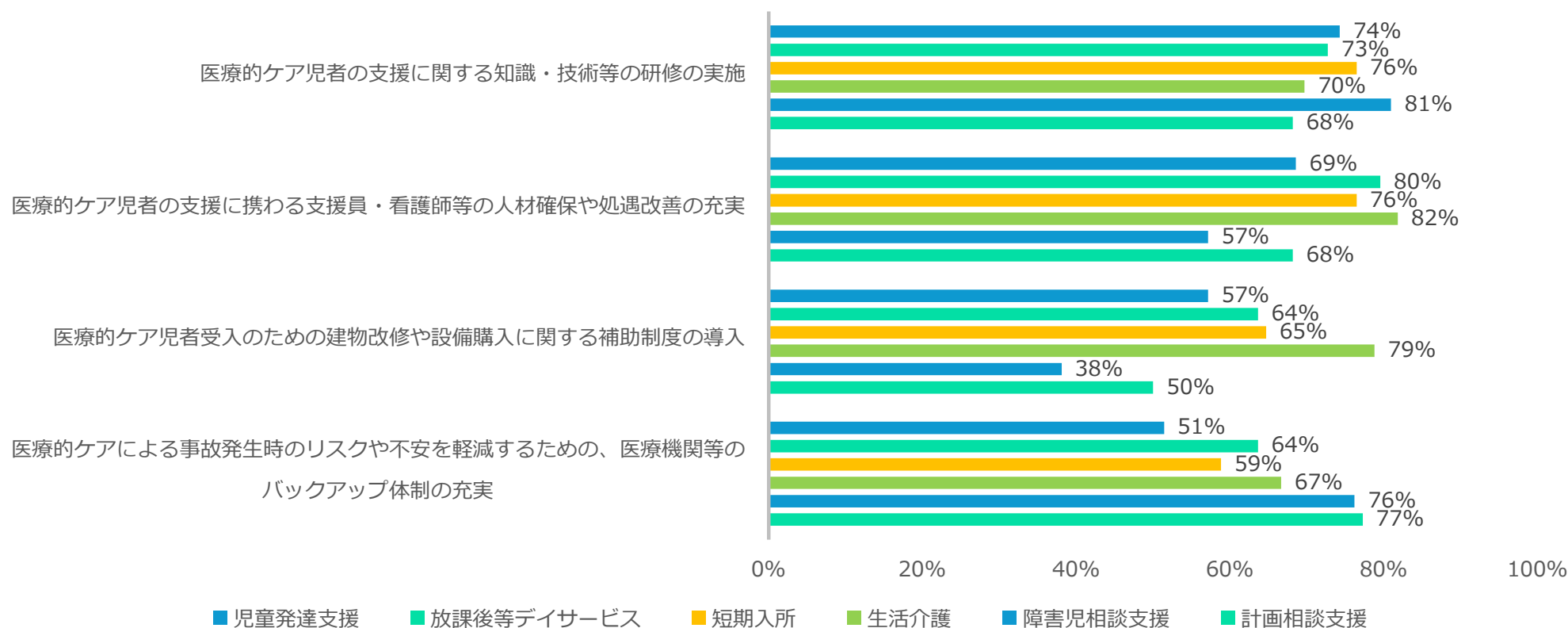
	児童発達支援	放課後等 サービス	短期入所	生活介護
看護師確保が困難	59%	80%	65%	64%
施設設備の整備が困難	59%	58%	76%	64%
医療的ケア実施のスキル不足	49%	58%	35%	36%
医療的ケア児の送迎体制が確保できない	49%	58%	53%	45%
医療的ケアにおけるリスクが大きい	32%	42%		

	障害児相談支援	計画相談支援
医療的ケアについての知識不足	79%	59%
協力医療機関等の確保が困難	26%	36%
医療的ケアを必要とする利用者の支援経験が少ない	26%	45%
事業所間の連携がない		18%

2 調査結果 <障害福祉サービス事業所>

■ 医療的ケア児者の地域における生活を支えるために必要なもの※上位項目抜粋

	児童発達支援	放課後等デイサービス	短期入所	生活介護	障害児相談支援	計画相談支援
医療的ケア児者の支援に関する知識・技術等の研修の実施	74%	73%	76%	70%	81%	68%
医療的ケア児者の支援に携わる支援員・看護師等の人材確保や処遇改善の充実	69%	80%	76%	82%	57%	68%
医療的ケア児受入のための建物改修や設備購入に関する補助制度の導入	57%	64%	65%	79%	38%	50%
医療的ケアによる事故発生時のリスクや不安を軽減するための、医療機関等のバックアップ体制の充実	51%	64%	59%	67%	76%	77%



調査から見た主な課題

1. 家族の介護負担が大きい
2. 短期入所等のレスパイト資源が不足している
3. 成人期移行への不安が強い
4. 災害時支援の周知・備えに課題がある
5. 事業所の受入体制整備が必要である

今後の検討の方向性

1. 家族支援・レスパイト支援の充実
2. 受け皿拡充
3. 移行支援の強化
4. 災害時支援の実効性向上
5. 事業所支援の充実

医療的ケア児や家族を取り巻く課題は多岐に渡るため、医療的ケア児等が適切な支援を受けることができるよう、今回の調査結果を踏まえ、施策を検討してまいります。